

審議会等の会議結果報告書

【担当課】文化財課（八ヶ岳総合博物館）

会議の名称	茅野市博物館協議会		
開催日時	平成29年6月28日（水） 午後1時30分～3時26分		
開催場所	八ヶ岳総合博物館 閲覧室		
出席者	沖野外輝夫委員長、笠井正啓委員、市川純章委員、武居三男委員、根橋良紀委員、伊藤彰敏委員、小野崎千恵子委員、西本綾子委員、 平出信次生涯学習部長、守矢昌文文化財課長兼尖石縄文考古館長、若宮崇令八ヶ岳総合博物館長、田村健神長官守矢史料館長、小池岳史考古館係長、両角英彦博物館係長、柳川英司古文書担当、渡辺真由子博物館係主査		
欠席者	小口隆秀副委員長、小平一次委員、大勝弘子委員、山田利幸教育長		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
平出生涯学習部長	<p>o 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育長あいさつ 3 委員の委嘱 4 委員の自己紹介 5 職員の自己紹介 6 茅野市博物館協議会設置条例について 7 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 正副委員長の互選について (2) 審議会等の会議の公開について (3) 各館 平成29年度事業計画について (4) 八ヶ岳総合博物館の充実について (第5次茅野市総合計画策定に伴う分野別実行計画関係) (5) その他 8 閉会 <p>o 会議録</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育長あいさつ（代理 平出生涯学習部長） 博物館協議会は、本年度から新しい任期になり、任期2年間で委嘱させていただきますが、よろしくお願ひします。 博物館は、資料の収集、保管、整理、研究、展示、教育普及を支えていくところということで、多様なニーズにこたえていかなければなりません。博物館が負っている責任は、幅広いと感じています。博物館は、地域特有のものを活かして、それぞれ特徴をもって設置されています。 茅野市にある博物館をどう活かしていくか、皆さんと一緒に考えて、博物館を地域の中で育てていけばと感じています。 茅野市には、八ヶ岳総合博物館のほか、尖石縄文考古館、神長官守矢史 		

	<p>料館と、3つの博物館があります。それぞれの博物館がもっているよさを活かしていければと感じています。委員さん方の忌憚のないご意見をお聞きしたいと思っています。</p> <p>茅野市では、今年度、第5次総合計画の策定を進めています。博物館の計画におきましても、皆さん方と確認しあいながら、お願いしたいと思っておりますので、ご審議をよろしく申し上げます。</p> <p>3 委員の委嘱 生涯学習部長から各委員に委嘱書が渡された。</p> <p>4 委員の自己紹介</p> <p>5 職員の自己紹介</p> <p>6 茅野市博物館協議会設置条例について (両角博物館係長が博物館協議会の役割について説明)</p> <p>7 協議事項 (1) 正副委員長の互選について 委員の互選により、委員長に沖野委員、副委員長に小口委員を選出した。 委員長からあいさつがされた。</p> <p>(2) 審議会等の会議の公開について (両角博物館係長が説明)</p> <p>本日の会議及び会議録は公開とすること、発言者の氏名は記録し公開することに決まった。 また、次回以降、これらの確認は、非公開とする場合のみに行うことに決まった。</p> <p>(3) 各館 平成29年度事業計画について</p>
沖野委員長	<p>それでは、各館 平成29年度の事業計画について説明してください。 最初に、尖石縄文考古館の説明をお願いします。</p> <p>(守矢尖石縄文考古館長が説明)</p>
沖野委員長	<p>質問があれば、お願いします。</p>
沖野委員長	<p>縄文プロジェクトの推進で、トリエンナーレ方式とは。第0回とは。</p>
守矢尖石縄文考古館長	<p>毎年、縄文まつりを行ってきたが、総合的な立場から、例えば、美術だとか各分野があるわけだが、それら全般的にやるまつりは3年に1度にしようということで、トリエンナーレとした。</p>

沖野委員長	<p>第1回の開催は2020年ということで、本年度は第0回とする。</p> <p>次に、八ヶ岳総合博物館の説明をお願いします。</p> <p>(若宮八ヶ岳総合博物館長が説明)</p>
沖野委員長	<p>質問があれば、お願いします。</p>
市川委員	<p>科学教育振興事業の(2)科学実験工作の実施の規模は。</p>
若宮八ヶ岳総合博物館長	<p>科学実験工作室を使い事業を行う。</p> <p>年度初めに募集して毎月1回、1年間行う「科学工作クラブ」がある。また、毎月、テーマを決め募集する「ワクワク科学工作」がある。夏休みの特別な工作をしてもらう夏休み子ども教室もある。</p> <p>ふだん、学校、保育園などが来館した際にも利用できるよう、簡単な空気砲で遊んだり、ホバークラフトに乗った体験ができるものを、市民研究員に工作をしてもらっている。</p>
市川委員	<p>博物館は元旦から、大勢の来館者でにぎやかだ。</p>
若宮八ヶ岳総合博物館長	<p>毎年、元旦博物館まつりを行っている。</p>
沖野委員長	<p>続いて、神長官守矢史料館の説明をお願いします。</p> <p>(田村神長官守矢史料館長が説明)</p>
沖野委員長	<p>質問があれば、お願いします。</p>
根橋委員	<p>魅力的な行事があるが、広報ちのでどのようにPRしているか。</p>
柳川古文書担当	<p>情報ネットワークというページに掲載している。総合博物館も同じ。</p>
沖野委員長	<p>提案があれば。</p>
根橋委員	<p>広く市民に行きあたり、多くの人に関わってもらえるようになればいいと思う。</p>
沖野委員長	<p>広報の仕方を検討して、なるべく多くの人に関心をもって、訪れるようにしてほしい。</p>
沖野委員長	<p>3館ともに、ギャラリートークや講演会をたくさんやっている。</p> <p>LCVなどと提携して番組に入れてもらうと、興味をもって、行ってみようと思う人が増えるではないか。</p>

小野崎委員	<p>広報を見て、興味があるものは行きたいと思うが、そうじゃない人は見過ごす面があるように思う。見に出かけることは好きなので、興味がわくような広報をしてほしい。</p> <p>考古館などには、一般市民がボランティアなどで関わることはあるのか。</p>
沖野委員長	博物館には市民研究者がある。
守矢尖石縄文考古館長	環境整備などの尖石ボランティアがある。
小野崎委員	何かお手伝いできれば、行きたいという人がいる。話を聞いてもらえるか。
守矢尖石縄文考古館長	ありがたい。
西本委員	総合博物館の駐車場の白線が薄い。
沖野委員長	そうですね。来館者がどこにとめていいか迷うようでも困りますね。
市川委員	<p>事業報告ではイベントごとに来館が何人だったかという数字を出している。それを受けて、今年度の事業計画をすることになる。</p> <p>十分来館があったので従来どおりに行うとか、少なかったので工夫、反省して新しい取組をするということは、あるか。そういう文面は、見えないが。</p>
沖野委員長	<p>次回には、そういう報告があってもよい。</p> <p>こういう企画をしたいが何が足りなくてできないというようなこと。やれない理由が分かると、それを解決することが可能かと思う。</p>
武居委員	<p>総合博物館の企画展などにはたくさんの方が来ていて感心する。</p> <p>科学工作など子どもたちが来ている。それは宣伝効果が出ていると思う。実態が分かりにくいので、どのくらいの参加があったかということを出してはどうか。</p> <p>それと、聞きたいが、ナイトミュージアムとは、どんなことを行うのか。</p>
守矢尖石縄文考古館長	<p>今年度は2回開催の予定になっている。</p> <p>通常は体験できない博物館ということで、子ども向けは、暗くなった館内を、宝探しのイメージで館長が先導して館内を歩く。</p> <p>大人向けは、ロマンティックな夜空や暗闇という雰囲気を活かして行う。好評いただいている。</p>

武居委員	ネーミングを見ただけで、何だろうと興味がわく。そういう工夫も大切と思う。
笠井委員	<p>モバイルプラネタリウムはすばらしいと聞いている。機会をみて見みたい。</p> <p>QRコードを使った展示動画解説も、先端の技術を取り入れていてよいと思う。</p> <p>今年度は、縄文プロジェクトに行事が重なっていくので大変と思うが、手助けができればと感じている。</p>
伊藤委員	<p>年間の入館者数は、どうか。</p> <p>市内の博物館や美術館のスタンプラリー的なものを充実させては。</p> <p>本年開催の縄文ライフフェスティバルで考古館の無料の日が多くなっていることは、うれしい。</p> <p>各館が工夫して、入館者が増えにぎわっていると思う。</p>
沖野委員長	<p>どのくらいの人に参加しているかというのは、3月の協議会の事業報告の資料（前年度の実績）があるといいと思う。</p> <p>（4）八ヶ岳総合博物館の充実について （第5次茅野市総合計画策定に伴う 分野別実行計画 関係）</p>
沖野委員長	<p>（4）八ヶ岳総合博物館の充実についてを説明してください。</p> <p>（両角博物館係長が説明）</p>
沖野委員長	<p>説明のあったのは、社会教育推進計画の中の八ヶ岳総合博物館の充実ということですが、神長官も尖石もそれぞれに計画があるということですね。</p> <p>上位が社会教育なのか文化・芸術や歴史、文化資産なのかという違いがあるということですね。</p>
両角博物館係長	<p>神長官は、3 文化・芸術の振興と推進で、（仮称）文化芸術振興計画となります。また、尖石は、4 歴史、文化資産の保護と活用で、（仮称）縄文の里史跡整備・活用基本構想となります。</p>
沖野委員長	意見はいつまでに出せばいいのですか。
両角博物館係長	今日場でなくても、持ち帰って、電話などでお知らせいただければと思います。
沖野委員長	今日の協議会は、3館について行っていますが、計画の中では、それぞれに分野が違っていると考えてください。

	<p>今すぐにとっても難しいと思いますので、何かありましたら、直接、館に伝えてください。</p>
武居委員	<p>成果指標の最終目標値は、いつになりますか。</p>
両角博物館係長	<p>計画策定の10年後、平成39年度です。</p>
伊藤委員	<p>行政、学校、地域、美術団体など各分野で文化向上に頑張っている。 一例を上げると、本年、諏訪美術会は、茅野市民館で70周年記念展を開催する。ジュニア展（高校生）やワークショップで次世代の未来ある子どもたちと関わります。 昨年は、高校の美術の先生と美術館と美術協会のシンポジウムを開催し、輪が広がり、一歩ずつ前進していると思います。</p>
沖野委員長	<p>市民活動を吸収するグループとして館が運営されることがこれからは大事だと思います。そうでないと、博物館だけの活動になってしまいかねない。 同時に、美術館と博物館も連携が必要になってくる。余り縦割りにしてしまうと融通がきかなくなり、発展がなくなってしまう。その辺をうまく計画の中に織り込んでいけるといいと思います。</p>
若宮八ヶ岳総合博物館長	<p>今の件に関しては、産学公民連携の推進につながっていくと思います。博物館は、そのハブ的な機能をもてるといいなと思っています。</p>
平出生涯学習部長	<p>そういうことを、こういう計画の中に表現していくことは難しい。 例えば、5ページの③将来像のところ、大きくとらえてもらいたい。 生涯学習活動の拠点、人的交流の拠点、観光の拠点として機能し、まちづくり・ひとづくりの要衝へと発展していくことが期待されるということにあてはまる、落ちてはいない、どこかに盛り込まれているというイメージになります。</p>
沖野委員長	<p>そういう計画の中で博物館が動いていると理解していただければと思います。どこをどう変えていくかということを協議会で意見をいただいていくということによろしいわけですね。</p>
生涯学習部長	<p>4つの柱を上げてあるので、この中に不足しているものだとか、こういうことを入れたらどうかということがあれば、お願いしたいということです。</p>
沖野委員長	<p>気がついた点があったら、館の方にご意見をいただければと思います。</p> <p>(5) その他</p>
沖野委員長	<p>この次は、年度末になるということですか。</p>

両角博物館係長

今日、検討いただいた基本計画に新たな内容を加えるなどのことがなければ、例年どおり3月に、事業報告を案件として開催することになります。

8 閉会
(閉会あいさつ)

以上で予定された案件は、全て終了しました。本日の協議会は、閉会とさせていただきます。